第二次湖南市環境基本計画

もっと知りたい
人はこちら

環境未来像

野洲川の清流　山々の景色　歴史が育む うつくし湖南

施策の体系

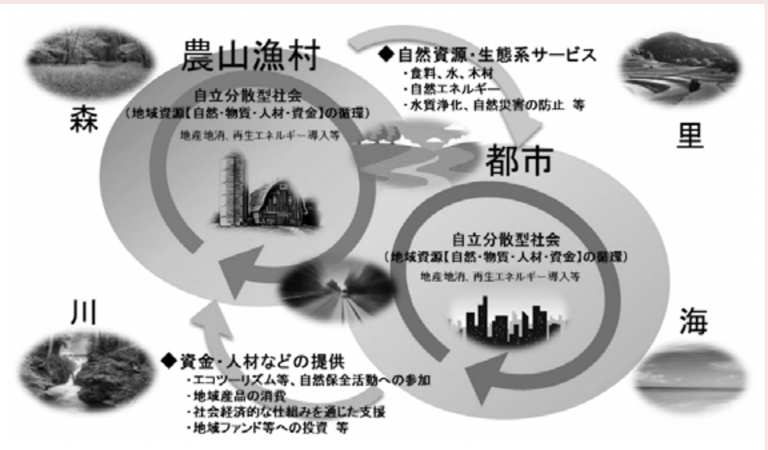
基本目標	【施策の方向性】	【施策】
基本目標1 人と自然が共生するまち	1 多様な自然環境の保全・再生	①森林の保全・再生　②河川やため池の水辺環境の保全・再生　③里地里山の保全と活用
	2 生物多様性の保全	①貴重な生物の保全　②野生鳥獣の適正な管理　③外来生物の対策の強化
	3 人と自然がふれあう機会の創出	①自然にふれあう場の整備と提供　②自然の恵みの観光振興への活用
基本目標2 安全・安心にくらせるまち	4 公害のないまちづくりの推進	①環境公害などの継続的な監視　②公害の未然防止
	5 環境美化の推進	①ポイ捨て行為やペットに関するマナー対策の強化　②ごみの不法投棄と環境美化対策の強化
基本目標3 心豊かなくらしと文化を育むまち	6 水と緑の保全・創出	①まちなかの緑の整備・創出　②水辺空間の整備・活用
	7 歴史・文化の保存・継承	①歴史遺産の保存推進　②伝統文化・工芸などの保存・継承推進
	8 地域資源の保全・活用	①ウツクシマツ自生地の保全・再生　②農村景観の保全・形成　③東海道沿いの町並み景観の保全　④空き家・空き地対策の強化　⑤地域資源の観光振興への活用
基本目標4 低炭素・循環型のまち	9 地球温暖化対策の推進	①再生可能エネルギーの利用促進　②地域自然エネルギーの観光振興への活用　③省エネルギーの促進　④その他緩和策の推進　⑤適応策の推進
	10 ごみ減量・リサイクルの推進	①3R の推進　②ごみ処理体制の整備　③地産地消の推進
	11 琵琶湖とのつながりを意識した流域環境づくり	①県や近隣市町と連携した琵琶湖流域の保全・再生　②水の適正な利用促進
基本目標5 こなんの未来を育む人・地域づくり	12 環境保全を担う人づくりの推進	①環境教育の推進　②環境学習の推進　③環境に関する意識啓発の強化
	13 環境保全を担う地域づくりの推進	①地域組織や環境関連団体の取組推進　②事業者の取組推進
	14 人と地域を結ぶ体制の構築	①環境関連情報をまとめたサイトの整備強化　②様々な活動主体間の連携強化

市民・事業者・市ごとの具体的な取組 → 重点プロジェクト

地域循環共生圏って？

農山漁村や都市といったそれぞれの地域の特性や強みを生かし、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成し、それらの地域が広域的につながり、支え合う仕組みのこと。

【地域循環共生圏のイメージ図】▶
出典：地域循環共生圏構築の手引き（環境省）



湖南市

湖南市とSDGsでめざす未来

～ 野洲川の清流 山々の景色 歴史が育むうつくし湖南 ～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

私たちは、地球を救うことができる最後の世代となるかもしれないと言われています。世界各地で起こる貧困、食料・エネルギー不足、気候変動など数ある世界的課題に直面し、これらの課題解決のためすべての国、すべての人で達成するべき目標としてSDGsは生まれました。湖南市においても、引き続き様々な分野でSDGsへの取組を行なっていきます。

今回の特集では、まず10月に策定した第二次湖南市環境基本計画をもとに、SDGsの取組みについて紹介していきます。

参加者募集！

＜滋賀×SDGs交流会＞ 2030年の滋賀と私を考える会議

2030年はどんな未来にしたいですか。一緒に考えましょう。

■**日時**　11月26日（火）　午後3時～6時
■**場所**　甲賀市まちづくり活動センター
■**定員**　30人
■**申込方法**　11月22日（金）までに滋賀県企画調整課（☎077・528・3312）へ。詳しくはお問い合わせください。

SDGs（エス・ディー・ジーズ） Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標とは

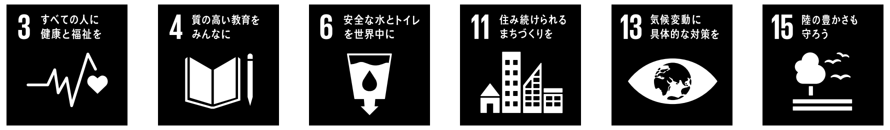
SDGsは、17の目標を定め、世界全体の共通目標として2030年までに、leave no one behind（誰一人取り残さない）をキーワードに世界を経済・社会・環境のバランスのとれた社会へと変革することをめざしています。

さらに詳しく知りたい人はこちら→
http://www.unic.or.jp/
国連広報センターホームページ（日本語）

3つの重点プロジェクト

重点1 うつくしこなん プロジェクト

リサイクル活動や環境美化を通じて、
市内から排出される廃棄物の削減や資源の地域内循環をめざします。



めざせ！うつくしい湖南市

- ポイ捨てや不法投棄をしない
- 地域の清掃活動や、監視パトロールなどへ積極的に参加する
- 食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）を減らす

方　針

- 食品ロス削減を推進します
- 資源の有効活用を推進します
- 環境美化を推進します
- うつくしこなん実現に向けた情報発信を推進します

食べ物がこんなに捨てられている！

日本では、全ての国民が毎日お茶碗一杯のごはん（約150g）を食べずに捨てるほどの食品ロスが出ています。食品ロスを減らすことで、地球温暖化防止につながります。

※出典：「7日でチャレンジ！食品ロスダイアリー」（環境省）

重点2 エコシティこなん プロジェクト

再生可能エネルギーの導入や市民1人ひとりのエコ活動など、湖南市らしさを活かした地球温暖化対策の普及や低炭素社会の構築をめざします。

めざせ！エコなまち湖南市

- 夏場は、アサガオやゴーヤを植えて、緑のカーテンを作る
- 家電の買い替えや、建て替え時に省エネ型の製品・設備を検討する

方　針

- 再生可能エネルギーの普及を推進します
- 市民・事業者のエコ活動を推進します
- 地球温暖化対策を担う人材育成を推進します

今日から始めよう！ 家計にやさしい地球温暖化対策

■電気冷蔵庫の節約：冷蔵庫にものを詰め込みすぎない
◆1年間で約1,180円節約　◆1年間でCO_2を25.7kg削減

■照明器具の節約：白熱電球からLEDランプに取り換える
◆1年間で約2,430円節約　◆1年間でCO_2を52.8kg削減

■テレビの節約：液晶画面の輝度を適切（最大→中間）にする
◆1年間で約730円節約　◆1年間でCO_2を15.9kg削減

特集）第二次湖南市環境基本計画×SDGs

重点3 こなんの魅力発見！発信！ プロジェクト

多様な地域資源をツーリズムとして活用することで、本市の魅力を再発見したり、
地域資源の保全・活用、地域循環共生圏の実現をめざします。

めざせ！地域資源を生かしたまち湖南市

- 自然観察会や体験学習などに参加・協力する
- ウツクシマツを保全する活動に積極的に協力する
- 地域の歴史や文化に関心を持つ

方　針

- ツーリズム普及拡大に向けた体制の構築を図ります
- 地域資源を活かしたツーリズムを推進します
- 学校などと連携した環境学習やインターンシップなどを推進します
- ツーリズムに携わる人材の育成・活用を推進します

ここに注目！ コナン市民共同発電所

本市では、全国に先駆けて市民共同発電所を稼働しており、自然エネルギー導入の成功例として多くの団体が本市を訪れており、コナン・ツーリズムとして、コナン市民共同発電所などの見学が行われています。

※ツーリズム…地域ぐるみで地域固有の魅力を市民や来訪者に伝えることにより、その価値が理解され、保全につながっていくことをめざす仕組みのこと。

第二次湖南市環境基本計画の策定にあたって

滋賀県立大学教授　鈴木 一実

湖南市では平成21年に「第一次湖南市環境基本計画」を策定し、めざすべき環境未来像「野洲川の清流　山々の景色　歴史が育むうつくし湖南」の実現に向けて、環境保全に関する施策を展開してきました。この第一次計画策定からほぼ10年が経過し、私たちを取り巻く社会情勢や環境問題は大きく変化してきました。第二次湖南市環境基本計画は、こうした社会情勢の変化や湖南市を取り巻く環境面の課題に対応し、健全な物・エネルギーの循環や低炭素化を実現するとともに、自然と人間、地域間の共生を図り、持続可能な社会と地域循環共生圏の実現をめざすために策定するものです。

第二次計画策定にあたって、学識経験者、工業・農林業・商業代表、行政からなる13人の環境審議会の委員がここに紹介する重点プロジェクトや数値目標の設定を行いました。この計画は市民・事業者などが取組やすい内容を記載していますので、今後、湖南市のめざす姿に向かって市をあげて取組んでいかれることを願っています。

問生活環境課〔東庁舎〕　☎71-2326　FAX72-2201